



1 学校の特徴

(1) 学校の沿革

- 昭和 22 年 4 月 稲枝中学校・稲村中学校・葉枝見中学校の 3 校創立
- 昭和 23 年 10 月 愛西中学校として認可
- 昭和 25 年 4 月 本館竣工式
- 昭和 29 年 7 月 校旗樹立式
- 昭和 32 年 4 月 稲枝中学校と改称
- 昭和 32 年 10 月 創立 10 周年記念式典挙行 校歌制定
- 昭和 40 年 7 月 プール竣工式
- 昭和 52 年 12 月 創立 30 周年記念式典挙行
- 昭和 63 年 2 月 校舎改築ならびに創立 40 周年式典挙行
- 平成 9 年 11 月 創立 50 周年記念式典挙行
- 平成 13 年 12 月 武道場完成
- 平成 19 年 10 月 創立 60 周年記念式典挙行

(2) 校 訓

志学
創魂

学校教育目標

未来を拓く
心豊かでたくましい
生徒の育成

合い言葉

正しく
強く
仲良く

生徒の「わたしたちの5つの約束」

本校の「一校一行」

- ☆あいさつをしっかりとる
- ☆返事をしっかりとる
- ☆人の話をしっかりと聞く
- ☆時間を守る
- ☆整理整頓をする

(3) 教育指導の力点

- 1 「五つの約束(教育の原点)」
 - ①あいさつ ②返事 ③聞く ④時間厳守 ⑤整理整頓
- 2 伝え合う力の育成
 - ①特別支援教育の視点に立った授業改善
 - ②学習力、聞く・話す・読む・書くなどの基礎基本の徹底
 - ③伝え合える集団の育成

3 保・幼・小中学校の一貫した教育実践(稲枝教育推進協議会による)

- ①子どもの発達を踏まえた教育
- ②学習規律や学習習慣の定着
- ③基礎的生活習慣の定着による豊かな心の育成



2 生徒活動の特色

(1) 生徒会活動の紹介

稲枝中学校生徒会の伝統を引き継いで、中央委員会を中心に自治的な活動を進めています。学校生活がより良い方向に向けられるように活動しています。

(2) 行事紹介

稲枝中学校独自のいろいろな行事を行っています。

<壮行会>



<稲中広場>



<親子活動>



<体育祭>



<合唱コンクール>



<文化祭>



<職場体験>



(3) 部活動紹介

ほぼ全員の生徒が部活動に入り、毎日練習に励んでいます。自分なりの、そして自分たちの目標に向かって部長を中心にまとまって活動をしています。

剣道部、バスケットボール部は県でも上位の成績を収めています。また、バドミントン部、卓

球部、バレーボール部も上位を目指してがんばっています。吹奏楽部も中部日本の本大会に出場する活躍を見せてくれています。美術部もたくさんの賞を毎年獲得します。

野球部 陸上競技部 バレーボール部 バasketボール部 バドミントン部
 剣道部 ソフトテニス部 卓球部 吹奏楽部 美術部 園芸部

3 校内研究・研修

(1) 研究主題

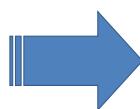
教科等	研究主題	記事
各教科等	確かな学びと豊かな心の育成をめざして －伝え合う力を高めるための授業の改善－	

(2) 研究の内容

○ 研究仮説

ア：経年評価により生徒一人ひとりの学習の実態を明らかにし、個を大切に学習指導や学習の習慣の工夫を検討し、確かな学びの方法を模索する。

イ：各教科で示された伝え合う力を積極的に取り入れた授業を行う
 また、表現させる機会や学習環境の充実を図る。



・生徒は仲間とともに落ち着いた環境で学習することができるようになる。
 ・生徒は自分に自信を持って意欲的に学習に取り組むことができるようになる。
 ・生徒は自分の考えを見つめ、自分の考えや表現を他にわかるように伝えたり、友達の意見に耳を傾け、理解しようとしたりすることができるようになる。

○ 研究内容

ア 低学力の向上

- ・国語、算数の学力テストを実施し対象生徒を抽出する。（1年生）
- ・対象生徒の個に応じた学習指導を計画し、担任と協力して実施する。（全学年）
- ・学習支援や家庭学習の習慣づくりをめざした取り組みを検討する。（全学年）

イ 伝え合う力の育成

- ・「伝え合う力」の育成を目指した授業を通して、各教科における「伝える力」（表現力、書く力、聞く力）を身につけさせ、さらに学校生活などで実践させる。
- ・生徒指導、特別活動、総合的な学習の時間と連携して、「伝え合う力」育成のための「グループワークトレーニング」を実施する。
- ・意欲を持って発言、発表できる学習環境を工夫し、実践する。

(4) 研究構想

研究主題

確かな学びと豊かな心の育成をめざして
— 伝え合う力を高めるための授業の改善 —

授業改善の工夫

学習支援・学習規律・表現する力・書く力・聞く力

低学力対応部会

調査・分析部会

「伝え合う力」検討部会

基礎的な力を育てる

- ・ 学力レベルの分類
- ・ 個の実態の把握
- ・ 学力レベルに応じた資料の作成
- ・ 個を大切に学習指導（学習支援）
- ・ 基礎学力の定着をめざす。
- ・ 家庭学習における習慣づくり

標準学力調査の分析

- ・ 分析の仕方の検討
- ・ 活用方法の検討
- ・ つまずきの発見

「伝え合う力」を育てる

- ・ 「伝え合う力」を探る
- ・ 学習指導案の中への「伝えあう力」の盛り込み方を検討
- ・ 「伝え合う力」を取り入れた授業の検討
- ・ 特別活動、総合的な学習の時間との連携の仕方の検討（グループワーク）
- ・ 発言、発表しやすい学習環境の工夫の検討

教科主任会・各教科部会